

校内研修計画

大藤小学校

1 学校課題

大藤地区は、緑が豊かで、桃やすももなどの果樹栽培を中心としている地域である。学校と地域との結びつきが強く、保護者や地域は学校教育に深い理解と関心をもち、様々な活動に協力的である。以前、本校が取り組んだ「開かれた学校づくり」の研究によって、より一層地域との結びつきが深まり、今もなお継続されている。児童は温かく優しい地域の人々に見守られ、明るくのびのびと生活している。

本校児童は80名。全学年が単学級であり、どの学年も20名未満の、小規模校である。年々児童数は減少している。大規模校と比べると個人指導がいき届きやすいが、やはり社会の変化に伴い、児童一人ひとりの個性は多様化し、学習意欲や学習能力の個人差も大きい。

各学級における児童の実態については、「個人差が大きい」「自分の考えを、言葉や文章で伝えることが苦手である」「友だちの考えを参考にしたり自分の考えに取り入れたりすることがあまりない」「家庭学習をする児童としない児童の差が大きい」などの課題が挙げられている。

2 研究主題

「自ら考え、課題を解決できる児童の育成」
～思考力・判断力・表現力を高める指導を通して～

3 主題設定の理由

(1) 学校教育目標具現化の立場から

本校の学校教育目標は『自ら考え、正しく判断し、行動する児童の育成』である。具体目標として「自ら考えて学習する子ども」「健康で明るい子ども」「思いやりの心をもつ子ども」「協力しやりぬく子ども」「郷土を愛する子ども」の5つが掲げられている。

「知・徳・体」の調和がとれた人間性豊かな児童の育成を具現化するために、「知」においては基礎的・基本的な学力の定着とともに自分なりに知識を活用し、自ら考えて判断したり、表現したりできる児童の育成が大切であると考えている。そうした力をつけることでいずれは教育活動全体に渡って「自ら考え、正しく判断し、行動する児童が育まれるのではないか。」と考えこの主題を設定した。

(2) 昨年度の研究から

本校は、平成22年度から「自ら考え、課題を解決できる児童の育成～思考力・判断力・表現力を高める指導を通して～」をテーマに研究を進めてきた。今年度は、その4年目の継続研究に入る。

一昨年度は、教科を算数科に限定して研究を進めたが、昨年度は教科を限定せず、今までの研究の積み重ねをもとにあらゆる教科・道徳における思考力・判断力・表現力について研究や実践を行った。それにより研究の幅が広がり、継続して研究を行ってきたことで、様々な手立ての工夫が学習の中で定着してきている様子が見られる。

また昨年度は、本校における各教科ごとの身に付けさせたい思考力・判断力・表現力の一覧表を作成できたことが大きな成果となった。さらに、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトの取り組みに関わって、2度にわたるQ-U検査を行い、その結果を学級づくりや日常の指導に生かすことができた。

しかし、より有効かつ具体的な日常の取り組み・手立てなどについて、また学級の実態に合わせた学習支援のあり方についても、より研究を深めて、今日的課題や児童の実態に即した指導法を研究していく必要性を感じる。

以上のことから、今年度は昨年度までの研究によって挙げられてきた成果を継続しつつ、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も視野に入れ、国語科・算数科・理科・社会科の4教科の中から、「思考力・判断力・表現力」を深めるための、児童の実態に合った手立てを探っていくことを中心に研究を深めていく。本校児童の課題を少しでも改善できるよう、教育活動全体を通して指導にあたっていきたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 研究内容

- ・理論研究（思考力・判断力・表現力について）
- ・授業実践および授業公開の実施
- ・一人一実践の取り組み
- ・児童の実態把握（N R T検査・Q-U）
- ・言語活動充実のための日常的な取り組み

(2) 研究方法

- ・全職員の共通理解を図るために、全体研究会を中心に研究を行う。
- ・講師を招いて、児童の課題に即した理論研究を行う。
- ・授業研究をし、授業公開を行っていく。
- ・N R T検査やQ-Uから、児童の実態を把握し、具体的な指導法を研究する。

年間校内研修計画

研究主任 金井 京子

| 回 | 月／日 | 形態 | 主 な 内 容 | 担当 | TC 要請 |
|----|---------|----|----------------------------|-----|-------|
| 1 | 4 / 3 | 全 | 昨年度の研究について、今年度の方向性 | 金井 | |
| 2 | 4 / 10 | 全 | 学校課題，研究主題，研究内容・方法，年間計画について | 金井 | |
| 3 | 4 / 15 | 全 | 学校課題，研究主題，研究内容・方法・年間計画の決定 | 金井 | |
| 4 | 5 / 1 | 全 | 継続的な取り組み・つけたい力について | 金井 | |
| 5 | 5 / 22 | 全 | 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携について | 金井 | |
| 6 | 5 / 29 | 全 | N R T検査の結果より | 金井 | |
| 7 | 6 / 19 | 全 | 理論研究 | 金井 | |
| 8 | 7 / 10 | 全 | 理論研究（つけたい力，授業案形式等） | 金井 | |
| 9 | 8 / 21 | 全 | 教育課程の還流報告，Q-Uの結果より | 金井 | |
| 10 | 9 / 4 | 個 | 授業案作成 | 金井 | |
| 11 | 9 / 11 | 全 | 授業案検討① | 金井 | |
| 12 | 9 / 25 | 全 | 授業案検討② | 金井 | |
| 13 | 10 / 9 | 全 | ☆研究授業 | 授業者 | ○ |
| 14 | 10 / 16 | 全 | 授業の反省，授業案検討① | 金井 | |
| 15 | 10 / 23 | 個 | 授業案・教材作成 | 金井 | |
| 16 | 10 / 30 | 全 | 授業案検討② | 金井 | |
| 17 | 11 / 6 | 全 | ☆研究授業 | 授業者 | ○ |
| 18 | 1 / 29 | 全 | 研究の反省とまとめ | 金井 | |
| 19 | 2 / 19 | 全 | 研究紀要作成について | 金井 | |
| 20 | 2 / 26 | 全 | 研究の成果と課題・研究のまとめ | 金井 | |
| 21 | 3 / 4 | 全 | 研究紀要作成 | 金井 | |

